

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されており。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増やすよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に並び、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		児童が視覚的にもわかりやすいよう環境作りを心掛けております。建物の構造上階段も入りバリアフリーになっておりませんが、児童が移動する際には職員が一緒に行動して、安全に配慮しています。ペビーカーをご利用の場合は上げ下ろしのお手伝いをさせていただいております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		それぞれの児童の活動に合わせた空間作りを心掛けております。毎日、清掃と教材や玩具の消毒、故障等ないか確認をおこないながら整理整頓をおこなっております。また、なるべく大きな物、高さがある物を教室内に置かないようにしております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		利用児童の様子に合わせて安心して過ごせる部屋や環境を整えております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	7		その日勤務の職員が揃う時間に業務連絡、療育内容の確認など話し合いの場を設けております。また定期的に会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるように図っております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価表を集計し、職員全体で向き合い、振り返りをおこなうことで業務改善に繋がっております。評価におこなうご要望などについては、どう改善していくかを職員間で話し合い、内容を共有し取り組めるようにしております。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		支援計画に基づく支援となるように会議にて活動内容を決定、実行しております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		現時点では第三者評価は実施できておりませんが、第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7		年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保しております。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公式Webサイトにて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		児童発達支援管理責任者が作成した計画書を基に全職員で話し合い支援をおこなっております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画に基づく支援となるように会議にて活動内容を決定、実行しております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		社内共通様式で標準化されたアセスメントツールを活用しています。ツールには児童の意思疎通の方法や身辺自立の状況、言葉や文字、数への理解など細かく書けるようになっております。	
適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		ケース会議をおこない、児童一人ひとりの支援内容について意見を出し合ったうえで支障を取り組む課題をチームで設定しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		定期的におこなう固定プログラムの他季節の行事や児童の興味に配慮したプログラムも取り入れ楽しく意欲的に活動が出来るように工夫しております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別療育が効果的と判断し、気持ちの伝え方等個々の課題の学びの場を持つようにし、集団活動の中でそれを活かして表現できるように見守っています。また職員が関与の仲介に入って個別と集団を組み合わせてくれる工夫を随時おこなっております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝ミーティングをおこない、当日の担当や役割分担について対応を確認しております。	
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		次の支援のために必要な振り返りに漏れがないように「児童について」「保護者様について」「学校連携について」等、情報共有に努めております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援に対する記録は、療育担当者が必ずおこない、切れ目のない支援に役立てております。記録はケース会議などで振り返り、今後の目標設定に活用しております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングをおこない、計画の見直しの必要性を判断しております。児童発達支援管理責任者が支援計画の見直しを取り組む際、時期に合わせて、面談で聞き取りをおこない、次回目標設定を検討しております。送迎時の保護者様との会話からもご意見として参考にさせていただいております。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7		児童一人ひとりの状態に即しながら将来の自立に向け活動を組み合わせています。専門的支援実施計画を作成し、基本的な生活習慣の段階的な習得、表現する喜びが得られる様な創作活動、また地域の協力を得ながら買い物学習の実践等社会体験等、児童の生活が豊かになるように努めております。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	7		児童の興味関心が膨らみ、ゆったりとした雰囲気の中で諸活動が自己選択できる力が育つように、環境づくりの配慮に努めております。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	7		対象児童について、事前に職員間で話し合い、現状把握のうえで、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加しております。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		現在は医療的ケアが必要な児童は在籍していませんので、主治医との連携はありませんが、協力医療機関や障害福祉、保育、教育等の関係機関との連携はケース会議及び家族支援等によりおこなっております。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		保護者様と連携し、学校での様子や相談事などを学校と連携して相互理解を持つように努めております。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		関係機関が集まり担当者会議をおこない、スムーズに移行できるように努めております。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		関係機関が集まり担当者会議をおこない、スムーズに移行できるように努めております。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		児童発達支援管理責任者が中心となり関係機関との会議や研修に参加し、研修で得た知識や情報を職員間で共有し、日々の支援に活かせるよう努めております。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		殆どの児童は小学校や学童などで、個々に障がいのない児童との交流はできています。感染症や社会情勢を鑑みながら交流の機会を企画できておりませんでした。	感染症の様子や社会情勢等周囲の状況に留意しながら事業所について理解を深めていただくため見学・話し合いなどを持つ機会があつても良いと、慎重に検討してまいります。
	33（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		職員数の増減や協議会の日程との調整が今後はスケジュールを合わせて積極的に関係機関の研修や勉強会などに参加して助言を受け、密に連携が取れるように努めます。	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		ご利用の都度、連絡帳に療育内容を記入してお伝えしています。また、送迎時に保護者様からのお悩みをお聞きしたり、事業所での様子や課題についてお話をしています。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		送迎などの機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをお伝えするように努めております。また療育上必要でご家庭での協力が仰げるものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		連絡帳や来所時にご相談があった際には、児童発達支援管理責任者が中心となり職員間で共有しています。送迎時、連絡帳の他、できるだけ面談をおこない、保護者様のお悩みの解決に向けて尽力しております。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		個別支援計画の作成時には保護者様とアセスメントをおこない、ご意向の確認やお困りごとについてお話をうかがっております。また児童には自分の夢や希望が話せるように場の環境を設定しております。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		モニタリングをおこない、ガイドラインが示す支援内容を踏まえた支援計画を作成し、保護者様と読み合わせ、丁寧に説明をおこなううえで同意を得て、サイン、捺印をいただいております。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		連絡帳や来所時にご相談があった際には、児童発達支援管理責任者が中心となり職員間で共有しています。送迎時、連絡帳の他、できるだけ面談を行い、保護者様のお悩みの解決に向けて尽力しております。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		感染症の拡大や社会情勢を踏まえ検討しておりますが、今年度は保護者会を開催できておりませんが、今後は保護者様の意向を踏まえながら、開催に向けて努めてまいります。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		ごこちらからもお声掛けを行い保護者様からのご意見や申し入れがあった場合は適切に対応しております。また担当者や連絡が取りやすいように配慮しご意見は全職員と情報共有し迅速な対応を心掛けております。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		COMPASS発達支援センター公式Webサイトにて公開しております。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の使用や使用後の処理、保管については適切な注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		児童独自の意思表示法などについては保護者様に教えていただき、確認しております。また、簡潔でわかりやすい声掛けや言葉だけでなく、身振りなどの視覚的支援を通して意思の疎通ができるよう心がけております。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		感染症の状況や社会情勢を踏まえながら、地域に開かれた事業運営について検討してまいりましたが、実施には至っておりません。	今後は保護者様の意向にも配慮しながら、交流の機会の創出に努めてまいります。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルは壁面に提示して、保護者様に手に取ってご覧いただけるようにしております。また、定期的に児童と共に避難訓練を実施しております。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		非常時避難用の道具（安全ヘルメット、防災頭巾、9カカード他）を常備しております。定期的に非常時を想定した話し合いや児童と一緒に避難訓練をおこなっております。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	7		服薬や、てんかん発作のある児童については必ず職員間で情報共有し、万が一のことがあった場合に備え、対処法を確認し合っております。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		指示書がある児童については保護者様と情報共有をおこない、各児童のアレルギーに関しては一覧表を作成して全職員に周知しております。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画の作成をおこない、全職員の研修と定期的な訓練をおこなっております。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		避難訓練は年間計画を立てて児童も参加し、定期的な実施しております。訓練の状況は連絡帳のカレンダーを通じてご紹介しております。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討しているか。	7		大きな事故を未然に防ぐという共通目的を意識し、小さなことでも気づいた点は記録に残して全職員共有しています。記録はフィードバックし、過去の事例と合わせていつでも確認できるようにしております。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		事業所に虐待防止責任者を選定し、事業所内研修や外部研修に参加し、認識を深めております。また委員会を設置し定期的な開催を行い全職員に周知徹底をおこなっております。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		利用契約書に原則として身体拘束の禁止を記載していますが、やむを得ず必要な場合については、保護者様の承諾を得て支援計画に記載するようにしております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体をおこなった自己評価です。